

安倍内閣の「集団的自衛権行使の閣議決定」や「日米防衛指針（ガイドライン）の見直し」による米軍支援拡大一途の状況の中で今、世田谷の上空は自衛隊機、米軍機の「空の交差点」となっています。空の騒音問題は、騒音や機体事故だけではなく沖縄や横田など基地問題ともつながっています。

今まで私たちは、機体の飛行観測、識者による講演会、騒音問題のチラシ配布、世田谷区役所との情報交流などを行なってきましたが、先月は港区麻布米軍ヘリ基地問題に取り組んでいる方々と情報交換を行いました。機体の観測では、会のメンバーが個々に爆音を聞いた時、飛行の方向、ヘリか飛行機か、プロペラが単発か双発かなどを確認し共通の観測シートに記入し 1 ヶ月間の飛行実態をまとめたりしました。

今後は騒音測定器による調査や、点から線としての連帯した取り組みにして行くため、機体飛行ルートにそった地域九条の会への呼びかけを行い問題の共有化を図ることや、また騒音問題に取り組んでいる方々との連絡会結成などを考えています。